

生横濱

健康って本当にありがたい

いつもの様に、先月、上級の月次祭をつとめ終えて夜行バスで帰って来たのですが、西谷の駅から歩いて帰る時にいつもと違うしんどさを感じたので、数日前にかおるが新型コロナウイルスに感染した経緯もあり、念の為に体温を測ってみたところ37度台でした。これまた念の為に、急遽仕事を休んで受診したら、案の定、新型コロナウイルスに感染しているとの診断でした。

立教188年
2月号
(通算第288号)

発行者
天理教生横濱分教会

言われるがまま隔離生活へと入りました。22日迄は完全隔離。その後も26日までは感染させる可能性があるとのことでしたので、大教会の春季大祭もご本部の春季大祭もお休みして療養させていただきました。

これだけ長期間に渡り休ませていただいたのは、私の記憶が正しければ、二〇二〇年初冬に新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生して以来の事です。この間（少なくとも5年間は）、コロナにもインフルエンザにも感染せず、軽い風邪は

ひいたことがありましたが、御用にも仕事にも影響せずに通らせていただけたことは、とてもとてもありがたい事だったのだと、改めて健康のありがたさを実感させていただきました。

また初期の頃のコロナは感染すると命に関わる重篤な状態になり、著名人も何人も命を落とされた事をニュースで見聞きしておりましたし、娘が感染したときも40度を超える熱が3日間も続き大変だったと聞いております。あれから年月が経ちコロナの性質も随分変わったのでしょうか。この度は、もしかしたら風邪よりも軽い？39度を超えることもなく、間違いなくインフルエンザよりは軽症だったと思います

ます。3日目の20日頃には起きて問題ないと感じるほどでした。申し訳ないですが、隔離されて行動を制限されている事の方がよっぽど辛かったです。

ここに来てバタバタと教会内でインフルエンザやコロナが流行りました。晴美奥様もこの5日にコロナに感染し、8日辺りから「もう何ともないわよ」と部屋から出て来られるようになったので、10日までは我慢して隔離されていて下さいとお願いしております。本当に軽症だった事がありました。

記録的な寒波が来ており、都心では雪こそ降らないもの

の、とても寒い日が続いております。夜中に寒さで目が覚める事も度々だと思います。どうか寝不足にならず、しっかりと身体を休めつつ、体調を崩すことなく、この冬を乗り越えていただきたいと思います。

来年の春季大祭には体調を崩すことなく、教祖百四十年祭をおちばで参拝させていただきたいと思います。皆様もその心積もりで、スケジュールだけでなく体調にも気を付け準備万端整えて下さい。アツという間にその日が来ると思

会長

能登支援

神奈川教区内には有志で能登半島へ支援をしに行っている方々が大勢おられます。先月私も便乗し行かせていただきました。

災害が起きてから能登へは、大教会からの炊き出しひのきしんや災救隊で数度行かせて頂きましたので、発災当初の姿と一年経った後の姿を実際に目の当たりにさせていただきました。

今回は二日間現場に出させていただき、一日目が約二メートルある側溝の泥だしで、二日目が流木の撤去作業でした。

この内容を見ると、地震だけではなく昨年九月の豪雨も

大きな被害を与えたということがよくわかります。

しかし、その中でも街中を見ていると、新しい住宅が工事中であったり、リフォーム屋さんの軽バンが走っていたり、未来に希望をもつて動いている方々の姿を見ることができました。

段々とひのきしんのニーズが変わってきて、炊き出しや瓦礫撤去などは少なくなってきましたが、まだまだ復旧・復興までの道のりは続いていきます。

どうか皆さんも被災地に心を寄せて、行ける方はいかせてもらい、行けない方は遠くからでもできる支援をさせていただけたらいいなと思います。

佑人



ご報告

・教区青年会総会

2月2日、教区で行われた青年会・女子青年おつとめまなび総会に匡理、佑人、憩が参加させていただきました。



お知らせ

・御霊大祭

3月1日は春季御霊大祭です。教会のお墓地にも行かせていただきますので、ぜひ御参拝ください。

・バザー

2月16日11時から14時で教会においてバザーを開催いたします。ぜひお越しください。

・おやさま一四〇年祭団参

来年1月25、26日でおちばがり団参をさせていただきます。どうぞ今からスケジュール帳に記入をお願いいたします。

2月											
11	7	9	6	3	1	3月	26	23	16	12	11
日	日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	日
生横濱月次祭	比企家講社祭	みんなの食卓	太田家講社祭	生旭月次祭	みんなの食卓	春季御霊大祭	ご本部月次祭	康靖家講社祭	大教会月次祭	バザー	生田川月次祭
比企家講社祭	みんなの食卓	太田家講社祭	生旭月次祭	みんなの食卓	春季御霊大祭	ご本部月次祭	康靖家講社祭	大教会月次祭	バザー	生田川月次祭	比企家講社祭
比企家講社祭	みんなの食卓	太田家講社祭	生旭月次祭	みんなの食卓	春季御霊大祭	ご本部月次祭	康靖家講社祭	大教会月次祭	バザー	生田川月次祭	比企家講社祭

今月の予定

立教百八十八年一月春季大祭祭文

守るを進なきし一はいもんさ活すお和日せのお現明もさいるごす一をす慎天こ
護陽もめくゝて緒上とつなつ動よ受しをて理ち身治ついたよご御条やけん理れ
の気おさゝ今下に綴いて一で仕うけ一樂いをばを二てをだうい慈のしたで王の
程ぐ受せ一一さ御生うゝ手〓上お取心した受でお十ひそい心ま愛道ろい申命神
をらけて手度る巡田気教一諭げ願りにみだけ春隠年なのてがすのをととしの床
一し取頂一足事教川持祖つ達のい下つにきて季しにがとおけゝ程つしの上御に
同世りきつ元と下分ちにと第年申さと寄ま只大に我た口りゝ私はけて思げ前お
と界下たとを存さ教でごな四をしいめりす今祭な々のをま持共ゝてこ召まに鎮
共へさいな見じい会あ安つ号迎上まさ集ゝかがら子道通すちは誠ゝのかす天ま
にといつつままよつ心て〓えげしせい御らつれどをしが場ゝに陽世らゝ理り
慎近ま存てめすしりたいゝにままでてし前真とたもおてゝ・日あ気のゝ親教下
んづしじ人直ゝた神ゝたた込しす親い道に剣めゆた残おそ立々りぐ表旬神生さ
でけてまだししゝ山とだすめたゝ神たのはにらかちし教の場親がらに刻様横い
おさゝすすゝつ後真述きけらゝ教様だ子種陽れりの下え中の心たしお限に濱ま
願せ親ゝけ惰かほ一べゝ一れ真祖にきど々気まの更さ下に御にくゝ現のは分す
いて神何に性りど先らお条た柱百もまものにす月ないさこ用添ゝとれ到ゝ教元
申頂様卒向に聞ゝ生れ喜に思様四おす達物勇ゝでるまれのにわ勿おに来世会の
しけのゝか流か時がまび邁いは十勇真がをん当ご成しゝ月勤せ体導なと界長神
上まおこつさせ旬茜しい進と年年み実お供で教ざ人たそはめてなきり共一佐実
げす望のてれての奥たたすし頭祭下のうえつ会いを教のよ励いい下ゝにれ々の
まよみ心歩るい声様ゝだるてののさ状た今とでま促祖御ろまた極さたゝつ木神
すう下定みこたをと今き姿ゝあ年いをを日めもすしが身づせだみいす教を宏親
御さめをとだ流ご月たをみい祭まも唱のさそゝてゝをいてけでまけ祖た久神

祭主	扈者	賛者	指図方	献饌長	役割	地方	ておどり				笛	ちゃんぼん	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓
会 長	佐々木邦明	佐々木和代	真下育久	佐々木邦明	座りづとめ	佐々木佑人	会 長	生田川会長	真下育久	会長夫人	生田川夫人	前会長夫人	亀井美子	佐々木邦明	比企靖章		佐々木和代	佐々木千鶴	勝田好子
	比企靖章	佐々木佑人			前	生田川会長	会 長	比企靖章	佐々木雅敏	会長夫人	佐々木千鶴		亀井美子	真下育久	佐々木佑人		生田川夫人		勝田好子
伝 供	比企靖章		佐々木佑人		後 半	会 長	生田川会長	比企靖章	佐々木佑人	生田川夫人	佐々木和代	佐々木千鶴	亀井美子	佐々木邦明	前会長夫人	真下育久	会長夫人		勝田好子

祭典役割

兵神大教会

教祖140年祭 年祭活動の方針



教祖のひながたを手本に 「明るい心」で通りきろう

【実践目標】

一、身上おたすけ

身上のたすかりを願って動き、
親神様・教祖のお働きをお見せ頂こう

一、人だすけ

人のたすかりのために自分の時間を使おう

編集 後記

皆さま、こんにちは。

朝晩の冷え込みが厳しく
なってきましたが、お変わ
りありませんか。

先日、おせちに行って下
さった岡島さんという方の自宅に伺いま
した。おちばをととても気に入って下さり、
今度はゆつくり過ごしたいな、などと仰っ
ていました。やはりおちばは人類の故郷
で、いつも変わることなく親が子どもの
帰りを待つてくださっている場所なんだ
なあとしみじみ感じましたし、またおち
ばに帰りたいと感じるのはごく自然のこ
となのかなとも思いました。

来年はおやさま一四〇年祭です。

どうか皆さんと一緒に親の待つおちば
に帰れたらいいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

佑人